

1. 意識障害 *

「意識レベル」の判定法を以下に示しました。学童期以降は表1を、乳幼児は表2を参照して、該当する意識レベルの数字を調査票に記入してください。

表1. 意識レベル判定法 <学童期以降>

III 刺激をしても覚醒しない状態	
300	痛み刺激にまったく反応しない
200	痛み刺激で少し手足を動かしたり、顔をしかめる
100	痛み刺激に対し、払いのけるような動作をする
II 刺激すると覚醒する状態	
030	痛み刺激を加えつつ呼びかけを繰り返すと、辛うじて開眼する
020	大きな声または体をゆさぶることにより開眼する
010	普通の呼びかけで容易に開眼する
I 刺激しないでも覚醒している状態	
003	自分の名前、生年月日がいえない
002	見当識障害がある
001	意識清明とはいえない

表2. 意識レベル判定法 <乳幼児>

III 刺激をしても覚醒しない状態	
300	痛み刺激にまったく反応しない
200	痛み刺激で少し手足を動かしたり、顔をしかめる
100	痛み刺激に対し、払いのけるような動作をする
II 刺激すると覚醒する状態(刺激をやめると眠り込む)	
030	呼びかけを繰り返すと、辛うじて開眼する
020	呼びかけると開眼して目を向ける
010	飲み物を見せると飲もうとする。あるいは乳首を見せれば欲しがって吸う
I 刺激しないでも覚醒している状態	
003	母親と視線が合わない
002	あやしても笑わないが、視線は合う
001	あやすと笑う。ただし不十分で、声を出して笑わない

2. 無熱性けいれん **, 熱性けいれん **

- 調査票には、体温 38 度以上の発熱時に生じたけいれんを「熱性けいれん (有熱性けいれん)」、38 度未満でのけいれんを「無熱性けいれん」としてご報告ください。
- 下記の熱性けいれんの分類に準じて、けいれんを単純型・複雑型に分類してください。

- (1) 単純型とは、①持続時間が 15 分以内、②繰り返しのないもの、③左右対称のけいれん、をさす。
- (2) 複雑型とは、単純型以外のけいれん (持続時間の長いけいれん、頻発するけいれん、左右非対称のけいれんなど) をさす。

3. 異常行動・異常言動 ***

下記のように異常行動・異常言動をA～Eに分類した場合、調査票の該当する□にチェックを記入してください。複数該当する場合は、それぞれチェックしてください。

A. 事故につながったり、他人に危害を与えたりする可能性がある異常な行動

- 事故につながる可能性がある異常な行動。
例：自分が知らないうちに、靴をはいて外にでていた。外に飛び出し、小川に飛び込もうとした。高いところから、飛び降りようとした。
- 他人に危害を与える可能性がある異常な行動。
例：夜間に包丁をもって母親を襲おうとした。
- 上記以外で事故につながったり、他人に危害を与えたりする可能性がある異常行動。

B. 幻視・幻覚・感覚の混乱

- 存在しないものが見えている様子。
例：ついていないテレビを見て「猫が来る」、「お花畑がみえる」
- 居るはずがない家族や親戚、友人、知人などがいると言う。
- 目の前にあるものが見えない様子。
例：そばにいないのに「ママ近くに来て。」と話す。
- よく知っている人を間違える。例：父親を「お姉ちゃん」という。
- 身体感覚が正しく認識できない。例：突然「回る回るよ」と叫ぶ。
- 自分のいる状況が把握できない。
例：病院に行く準備をしているときに公園に行くと言う。
- 上記以外で幻視・幻覚・感覚の混乱と思われるもの。

C. うわごと・歌を唄う・無意味な動き

- 状況に全くそぐわない言葉を言う。例：知っている単語を意味なく繰り返す。
- 普段と違う不自然な話し方をする。
例：大人の敬語を使い「～でございます」という。
- 話す内容がばらばらで、筋道が通った話や会話ができない。
- 話そうとするが言葉が出ない。例：お母さんと言えず「あーうー」と奇声を上げる。
- 大声で叫ぶ、奇声をあげる。
- 突然歌を唄う。おかしい歌の唄い方をする。
- 無意味な動きをする。例：舌を何度も出す、おかしいしぐさを繰り返す。
- 上記以外でうわごと・歌を唄う・無意味な動きと思われるもの。

D. おびえ・恐怖・怒る・泣き出す・笑う・無表情・無反応

- 理由もなくおびえる。例：「こわい」と叫ぶ。
- 何でもないものにおびえる。例：窓ガラスに映るものや小さいなものに怯える。
- 異常に怖がる。
例：医師や看護師、知らない人をこわがる。ひきこもり、怖そうにがたがた震える。
- 理由もなく泣く、泣き叫ぶ、泣きわめく。
- 理由もなく怒る、暴れる。例：押さえ切れないほどの力で暴れる。
- 理由もなく笑う、ニヤリと笑う、高笑い。例：甲高い声でわめきだす。
- 無表情、無反応。例：喜怒哀楽の表情がない。反応が鈍い。視点が定まらない。
- 上記以外でおびえ、怒る、無表情などの表現と思われるもの。

E. 何でも口に入れてしまう

- 何でも口にに入れてしまう。
例：自分の指を、「ハムだ」と言いかじる。点滴の添え木をしゃぶる。
- 上記以外で何でも口に入れてしまうような異常行動。